#### 放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分 5 野	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月		en x,,,	6月			7月		8月 9.	月 備 考
名	1. 発生量低減 持込抑制策の	(実 績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用体制の整備 ・貸出運用方法の検討	24 発電所構内にお 検 討・ 設 設 計	ける資機材等の	7 資出運用体制の整	į.	5法の検討		5 12	F	F 1 + F 10	
	対策の推進検討	(予定) ・貸出連用方法の検討	现 應作 業					運用	開始準備			
		(実 績) ・実施計画変更認可申請対応 ・ 国体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 準備工事(試掘、鋤取り) 出留工事	実施計画変 検 討・ 設計	更認可申請対応								- 2014年8月12日:安全協定に基づく事前了解 [規制庁開連]     - 2014年8月13日:実施計画変更認可申請     - 2014年11月19日, 2015年3月30日, 6月8日 : 実施計画変更認可申請一部補正     - 3015年3月30日, 6月8日     - 3015年3月31日, 6月8日     - 3015年3月31日     - 3015年3月31日     - 3015年3月31日     - 3015年3月31日     - 3015年3月3
	ドラム缶保管施設の設置	(予 定) ・実施計画変更鬆可申請対応 ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟にかかる建屋工事 山留工事 規刷工事 杭工事		庫第9棟にかか 式掘、鋤取り)	る建屋工事  工程の1  山留工事	# 分化	掘削工事					- 2017年2月:竣工予定
		(実績)	検							1	杭工事	
固体廃棄		・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事配管医性工事。電気工事、機器単体試験(AB系統)ユーティリティ設備系統試験     ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事屋根鉄骨設置工事、外備工事配管据付工事。電気工事、機器単体試験(AB系統)ユーティリティ設備系統試験換気空調設備、対加設備系試験・雑固体廃棄物焼却設備にかかる速屋工事屋根鉄骨設室調設備、対立・運動と構成、対し、基本の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	雑固体廃棄物	焼却設備にかかく 作業内容の明		事、電気工事、機器	8単体試験(日系統		≧体的な工程の見配	ことによる変更		雑固体廃棄物焼却設備:2016年2月稼働予定
`	R R R R R R R R R R R R R R R R R R R		現	作業内容の明		事、電気工事、機器イ設備系統試験	器単体試験(A <mark>系統</mark>	<b>(b)</b>	換気空間	<b>引設備、焼却設備系</b>	系統武績	・建原工事(〜2015年10月) ・機衛工事(〜2015年9月) ・北瀬町期間(2015年10月〜2016年2月) 「土野工事工程] ・高峻工事完了: 2013年10月5日 ・ 日朝を仕工事: 2013年10月5日 ・ 日朝を仕工事: 2013年8月24日〜
処理・処分計画	2. 保管適正化 の推進		域作 業		<b>雑</b> 屋根鉄 <b>常</b>		■棄物焼却設備にかかる建摩工事 □		<b>5</b>			「簡單 C 社 · 梁即付完了: 2013年12月12日     2階 P C 社 · 梁即付完了: 2013年4月7日     5
Ш								外格工事				
		(実 績) ・設置工事(3槽) ・ガレキ域容 ・ガレキ受入(3槽)	検討・設計	O##\)								・2014年8月12日: 安全協定に基づく事前了解
	覆土式一時保 管施設 3.4槽 の設置	保 (予 定) ・ 設置工事 (3槽) ・ ガレキ 深容 ・ ガレキ受入 (3槽)	設置工事 (	<b>3</b>		ガレキ減容	・無人と施口	工機械不具合に	半い、ガレキ収容闘が		間見直し	
			無人	化施工機械不具合的	二伴い、保管槽へ収置	容開始時期が遅延(6/	23より収容開始) ガレキ受入(3	槽)				・一時保管テント内のガレキがなくなった時点で収容を中断
	ー時保管エリ アの追殺/拡 変	(実績) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG) ・保管槽構塑設置(追設28槽分) (予定) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG) ・伐採木一時保管槽の追設(エリアG) ・保管槽構塑設置(追談28槽分)	히 • 設 計 	伐採木一時係	管槽の追設(エ	JPG)						
	אננ		選作 業		新規追加	呆管槽擁壁設置 (追	設28槽分)					・ 伐採木 - 時保管槽の追設: 2015年10月30日 売了予定

#### 放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分 括野	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	5月	6月	7月	8月 9月	備考
名	3. 瓦礫等の管理・発電所全体 から新たに放出される放射性物 質等による敷地境界線量低減	(実 績) ・ 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・ 緩量低減対策検討 ・ ガレキ・ 伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 ・ 伐採木一時保管槽への受入(枝葉) (予 定) ・ 一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・ 線量低減対策検討 ・ カレキ・ 伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	## ガレキ等の行	来的な保管方法の検討		エリアの保管量	
固体廃棄物の保管管理、処理・処分計画管管理計画	4. 水処理二次廃棄物の長期保 管等のための検討	(実 緒) ・ (研究開発) スラリー安定化装置の選定要件抽出 ・ (研究開発) スラリー安定化装置の選定要件整理 ・ (研究開発) スラリー安定化透画成験 (コールド) ・ (研究開発) セシウム吸着店の長期保管 ・ (研究開発) スラリー安定化装置の選定要件整理 ・ [研究開発] スラリー安定化透画成態 (コールド) ・ (研究開発) スラリー安定化適用成験 (コールド) ・ (研究開発) スラリー安定化適用成験 (コールド)	· 検討	リー安定化装置の選定要件抽出 【研究開発】スラリー安定化装置の 【研究開発】スラリー安定化適用試験(コールド) ウム吸着塔の長期保管 紅験内容の明確化 セシウム吸着塔吸着試験の準備	超定要件整理	吸着試験の実	
処理・処分計画	固体廃棄物の性状把握	(実 緒) ・ [研究開発] 廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査・ [研究開発] 固体廃棄物のサンプリング・分析 ・ [研究開発] JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)  (予 定) ・ [研究開発] 廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査・ [研究開発] 固体廃棄物のサンプリング・分析 ・ [研究開発] JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	輸送試料検討  (研究開発) 医体质囊物の  現場	サガライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査  中期的な分析目的/ニース検討、優先順位整理  ・	5種、元素) <del>2分析内容の明確化</del>		

#### 東京電力株式会社 放射性廃棄物処理·処分 2015年6月25日

# ガレキ・伐採木の管理状況(2015.5.30時点)

	分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 ( mSv/h )	保管量	1	前回報告比 (2015.4.3	と <sup>2</sup>	変動 <sup>3</sup> 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
		С	屋外集積	0.01未満	55,500	m <sup>3</sup>	+300	$m^3$		98 %			
ガレキ		F	屋外集積	0.01	4,200	$m^3$	+100	$m^3$		56 %			
		J	屋外集積	0.02	4,700	$m^3$	0	$m^3$		98 %	102100 / 168100	・エリアP1造成完了、運用準備開始(2014年10月24日)	
	屋外集積 (0.1 mSv/h以下)	N	屋外集積	0.01	200	$m^3$	0	$m^3$		2 %			
	(0.1111017119,17)	保管場所       保管方法       空間(ms)         F       屋外集積       0.0         F       屋外集積       0.0         J       屋外集積       0.0         D       屋外集積       0.0         D       シート養生       0.0         E       シート養生       0.0         B       シート養生       0.0         E       シート養生       0.0         B       上       覆土式一時保管施設       0.0         A       仮設保管設備       0.3         E       容器       0.0         A       仮設保管設備       0.3         E       容器       0.0         B       容器       0.0         B       容器       0.0         B       区外集積       0.0         B       区外集積       0.0         B       区外集積       0.0         C       大塚木一時保管槽       0.0         C       大塚木一時保管槽       0.0         C       大塚木一時保管槽       0.0	0.02	26,200	m³	0	m³		95 %	(61%)	・エリアN瓦礫受入開始(2015年4月16日)		
		Р	屋外集積	0.01未満	10,600	$m^3$	+1,800	$m^3$		17 %			
		U	屋外集積	0.01未満	700	$m^3$	0	$m^3$		100 %			
		D	シート養生	0.01	2,600	$m^3$	0	$m^3$		88 %		・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機	
Ħ	シート養生	Е	シート養生	0.03	6,000	m³	+1,300	$m^3$		37 %	29600 / 48300		
レ	$(0.1 \sim 1 \text{mSv/h})$	Р	シート養生	0.01未満	0	m <sup>3</sup>	0	$m^3$		0 %	(61%)	の減容処理を進めていく。	
+		W	シート養生	0.03	21,000	m <sup>3</sup>	0	$m^3$		72 %		・エリアP2造成完了、運用準備開始(2014年10月24日)	
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	8,000	m³	0	$m^3$		100 %		トピックス  ・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1造成完了、運用準備開始(2014年10月24日)	
	覆土式一時保管施設、	Α	仮設保管設備	0.30	3,400	$m^3$	+100	$m^3$		48 %	17700 / 23700		
	仮設保管設備、容器			0.01未満	100未満		計画報告比	(8,000m) ) の女主協定に基づく事前 ) 解(2014年8月12日)。 ・エリアE2造成完了、運用準備開始(2014年10月24日)					
	(1~30mSv/h)	-		0.01	600	m <sup>3</sup>	·					はガレキは、工事で発生した廃材。	
		Q	容器	0.12	5,700	m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup>		93 %		・復工八一時休官施設3情設直工事用始(2014年11月10日)	
	固体廃棄物貯蔵庫		容器	0.03	5,600	m³	+100	m³		47 %		・第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了 解(2014年8月12日)。	
		合計(ガレキ)				$m^3$	+3,600	$m^3$		62 %			
		Н	屋外集積	0.01	15,200	$m^3$	+2,300	$m^3$		86 %			
	屋外集積	I	屋外集積	0.01	10,500	$m^3$	0	$m^3$		100 %		・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。	
伐坪	(幹・根・枝・葉)	М	屋外集積	0.01	38,400	$m^3$	+600	$m^3$		85 %		その他工事により発生した幹・根を随時受入中。	
木		V	屋外集積	-	0	$m^3$	0	$m^3$		0 %			
	一時保管槽	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	7,300	$m^3$	0	$m^3$		27 %		・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアT	
	(枝・葉)	Т	伐採木一時保管槽	0.01	11,100	$m^3$	+1,000	$m^3$		48 %	(37%)	の伐採木一時保管槽へ受入。	
		合計 (伐	採木)		82,500	m <sup>3</sup>	+3,900	m <sup>3</sup>		60 %			

- 1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
- 2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。
- 3 主な変動理由: フェーシング関連工事 1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 焼却対象物の集約作業 タンク設置関連工事 固体廃棄物貯蔵庫9棟設置工事 チップ化した枝葉の受入 等
- 4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

### 水処理二次廃棄物の管理状況(2015.6.18時点)

8	保管場所	種類		保管量		前回報告比 (2015.5.28)		保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス					
	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		630	本	+12	本							
		第二セシウム吸着装置使用済ベット	138	本	+6	本			ı					
		多核種除去設備寺保官谷器	既設	1,007	基	+17	基	2571 / 6055	・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設(第三施設)	36				
水			増設	594	基	+35	基	(42%)	全容量(容量3,456本)の使用前検査終了(2015年4月13日,1,536本増)					
処		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	51	本	+4	本		・使用済吸着塔一時保管施設(第一施設)の吸着塔保管ラック復旧(50本増)					
埋		多核種除去設備処理カラム	既設	3	塔	0	塔							
一次廃棄物		モバイル式処理装置等使用済ベッセ	148	本	+22	本								
	廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597	m³	0	m³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。						
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,237	m³	+34	m³	9237 / 20000 (46%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし)	3.50					







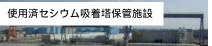






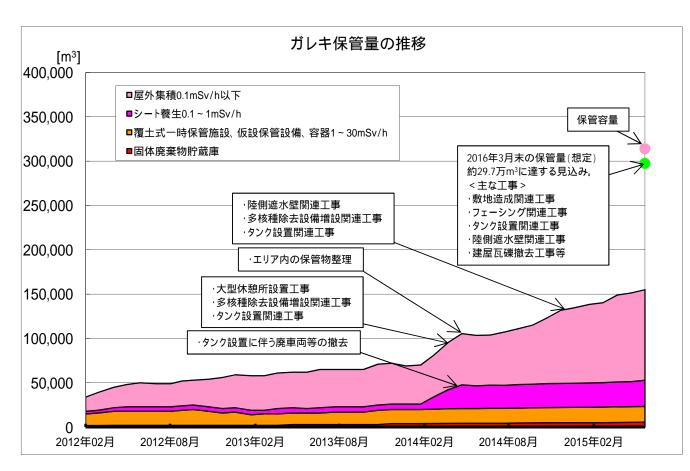


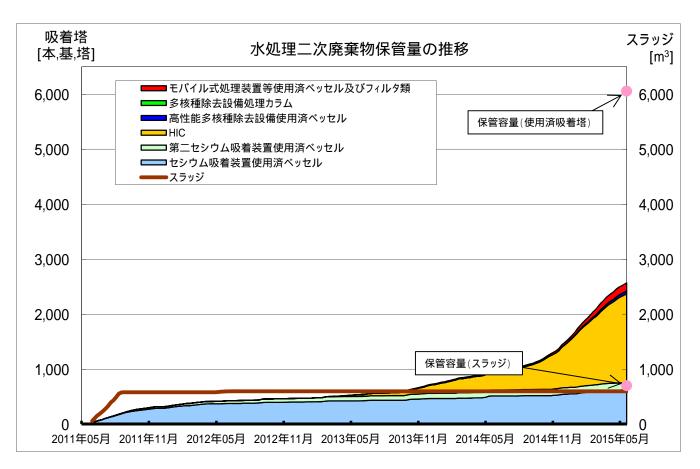


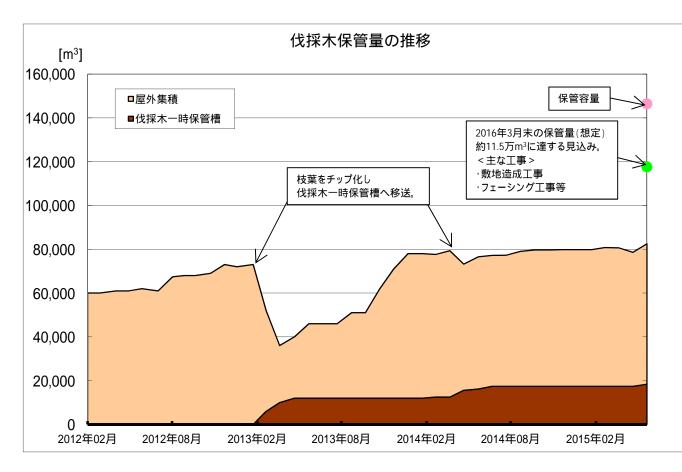


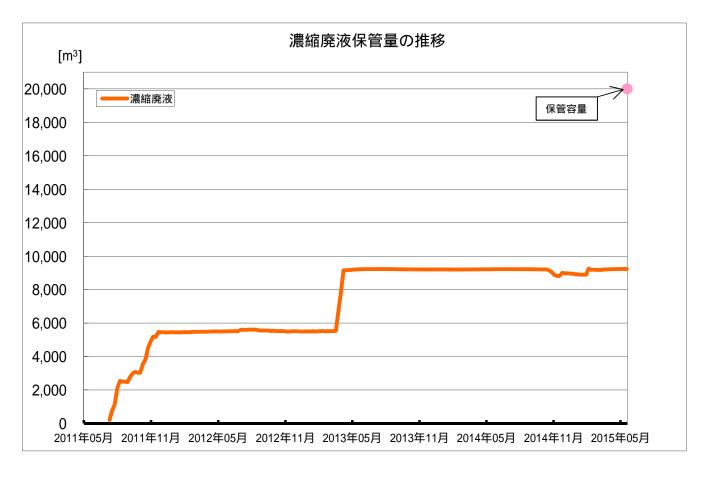


# ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物・濃縮廃液の保管量推移









# 覆土式一時保管施設(3槽)ガレキ受け入れ開始について

平成27年6月25日 東京電力株式会社



# 覆土式一時保管施設(3槽)ガレキ受入開始について

2015年6月23日(火)より、表面線量率30mSv/h以下の金属およびコンクリートのガレキ類を適切に保管するため、一時的に保管する覆土式一時保管施設第3槽へのガレキの受け入れを開始しました。

#### 施設概要

▶ 規模:約80m×約20m、高さ:約5m(最大)

▶ 保管容量:約4,000m3/槽

▶ 保管物:瓦礫類(表面線量率:30mSv/h以下)



覆土式一時保管施設第3槽全景



初回ガレキ受け入れ状況



# 固体廃棄物貯蔵庫(第9棟)の掘削工事着手について

2015年6月25日東京電力株式会社



# 固体廃棄物貯蔵庫(第9棟)の掘削工事着手について

#### 工事概要

現在、固体廃棄物貯蔵庫(第9棟)については、敷地造成等準備工事を実施しておりますが、本体工事の掘削に伴う山留工事を 2015年6月8日(月)から開始します。

保管容量

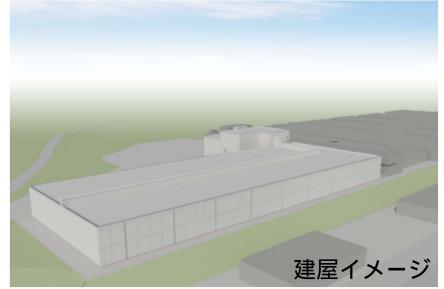
200 ポドラム缶 約110,000本相当

建屋の概要

鉄筋コンクリート造、地下2階・地上2階

建築面積: 6,785.16m2

延床面積:26,994.32m2



#### 設置場所



山留工事のイメージ





# 雑固体廃棄物焼却設備の 工程見直しについて

平成27年6月25日 東京電力株式会社



# 雑固体廃棄物焼却設備の工程見直しについて

#### ■工程の見直し理由

下記の要因等により工程を見直した結果、工程に遅れが生じた「H27/10→H28/2」

- ▶1F/2F/KKにおける重大災害等、人身災害に伴う作業停止「約1.25ヶ月」 1F/2F/KKにて重大災害等が発生したことから作業を停止し、安全総点検及び現場の安全性向上の処置を行った
- →安全対策のための必要日数の確保「約0.5ヶ月」 一部作業について安全性を高めるため専門工を配置することや夏季作業での熱中 症防止対策の実施、輻輳する作業に潜むリスクの再検討・抽出(上下作業等の防止) 等、安全性を向上させるために必要な日数を工程に盛り込んだ
- ▶工事重機不具合による作業停止期間の発生「約0.5ヶ月」 工事に使用している大型クレーンを点検したところ、クレーン支柱の一部に損傷が確認されたため使用禁止とした。当該クレーンの解体及び代替クレーンの手配が必要となり、この期間中に計画していた場重作業及び関連作業が実施できなかった。
- ▶悪天候による作業中止「約1.25ヶ月」 降雪や強風、濃霧等により揚重作業を中止せざるを得ず、クリティカルな作業であったため、全体工程に遅れが生じた。また、今後の天候リスクも盛り込んだ。
- ▶その他工程調整など「約1ヶ月」

